

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

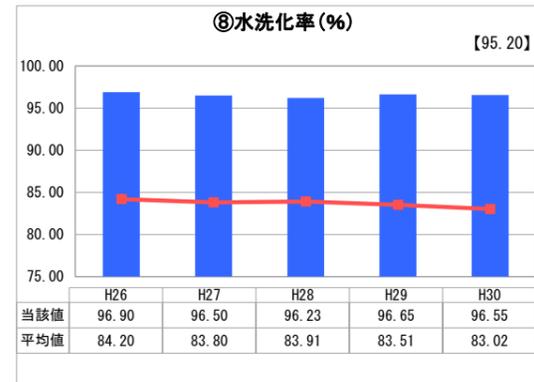
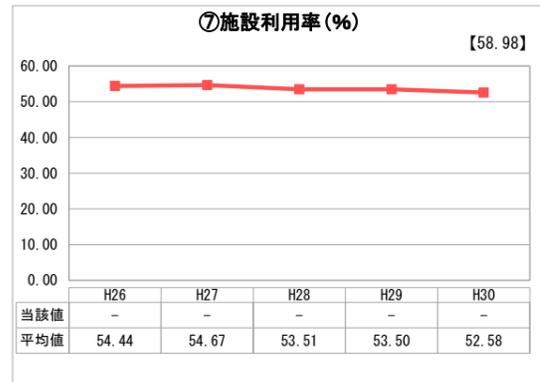
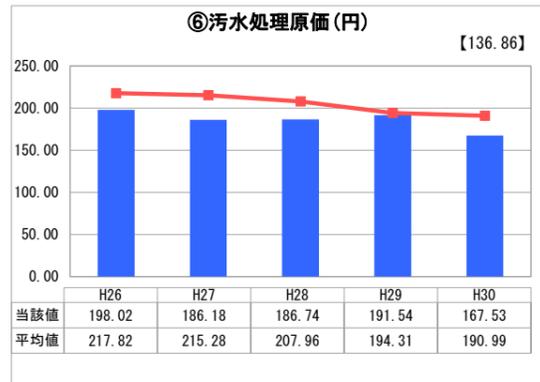
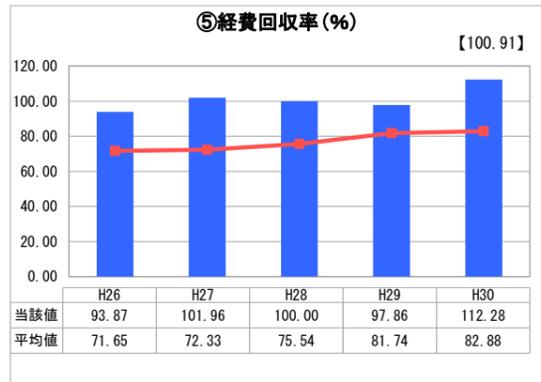
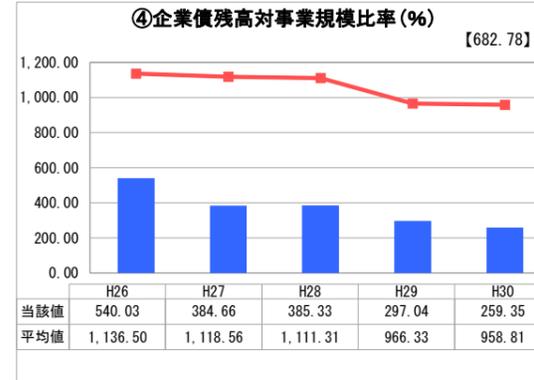
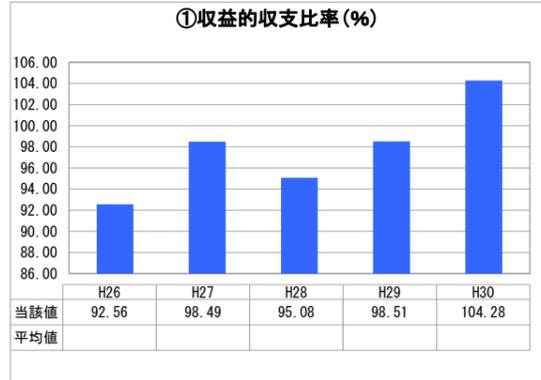
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.37	101.32	2,106

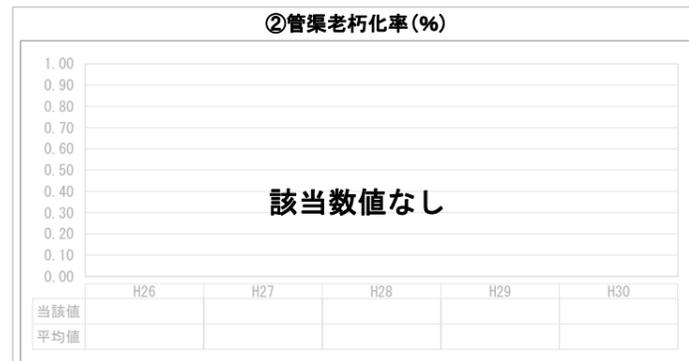
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,168	38.64	496.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,548	0.99	2,573.74

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
地方債の償還が進んでおり、地方債償還額が前年度よりも減少したため、比率は増加した。
- ④企業債残高対事業規模比率  
新規借入額が償還額を超えないよう抑制していることから地方債残高は減少傾向であるため、比率は減少傾向である。
- ⑤経費回収率  
大口使用者の汚水排除量が増加により使用料収入が増加する一方で、地方債の償還金の減少により、汚水処理資本費は減少していることから昨年度よりも14.42%増加した。
- ⑥汚水処理原価  
⑤経費回収率と同様の理由で減少傾向である。
- ⑧水洗化率  
例年と同レベルで推移している。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られない。

### 全体総括

平成29年度と比べ収益的収支比率が5.77%、経費回収率が14.42%向上し、いずれも100%を超えた。今後も経費節減に加え、必要があればストックマネジメントや経営戦略の見直し等を検討しつつ、計画的な施設の維持管理に努め、効率的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。